

ひのだいしんぼん

行台
診療所

TEL
0495
81-6175
日野市
日野台4丁目
26番16号

健全会協力会

日野支部

1月27日

64名
あつまり

にぎやかな
新年を祝う

日野台
地区センター

一月二十七日 健全会協力会日野支部主催の新年会が、日野台地区センターにおいて開かれました。毎年、恒例の行事となっており、六四名が参加し賑やかな会となりました。今年も病院の増床署名運動の広がりもあって、舞台の幕に「十万名の署名の力で、立川相互病院の増床を実現しよう」のスローガンがかかげられました。はまゆう班の西條さんの司会のもとに支部長の赤松さん、診療所所長の宮地先生、来賓として健全会理事長の中添先生より新年のあいさつがありました。そのあと昨年より「健康と平和な街づくり」とつづけられている健康チェック運動について、各班からプラカードを手につけての紹介がありました。コスモス班では池田さんが「看護婦さんの高瀬さんに頼りつきりですがみんなが血圧を計れるようならうとがんばっています。」と報告し、中央線小唄をひろうしました。ひとりて発表したのはグリーンクラブの小林さん、泉班の赤松さん、最多数の二四名の参加は程久保班、ふるさとの合

唱がありました。はまゆう班は、四季の歌 きれいな輪唱をきかせてくれました。多数の飛び入りもあり多才なところを披露してくれました。この会の開催に協力いただいた皆様ご苦労さまでした。手をつなぎ、かたりあつ健康と平和な街づくり、今年も一年がんばりましょう。

立川相互病院増床の歌

宮地先生
看護婦さん
職員、皆さんか
モシモシカメより譜で
合唱しました

モシモシみなさん
作 看護婦の山岸さん

モシモシみなさん患者さん
世界のうちで病氣ほど
苦しくこまったものはない
どうしてもベットをふやしたい
なんとおっしゃる健全会
政府の言い付け医療費を
けるに他のものはない
どうしてそんなにわからないの
モシモシ協力会のみなさんや
地域の力で署名あつめ
相互病院おこさくし
命の安心まもりましょう

「良い医療を求め立川相互病院の増床を支持する会」の結成総会一月二三日立川教育センターに千名をあつめ開かれました。参加された方の感想

をおきました。

「立川相互病院の増床を」と結成大会に出席しました。ステージに並んだ方がたを拜見し、病院とのお付き合いの長さ？が感じられました。挨拶や発言をきく程に、良い医療をベット差額料無しで「日夜患者の身になって奮闘されている病院」が浮彫にされ、驚きと感動で胸が熱くしました。最後の「たまつこ座」のた

いこの躍動するバチたたきを聞きながら会場の皆さんとの連帯のきずなのつよさを確認することができました。

西條敦子

結成大会



日野台診療所の診療体制

水 午後
日 午後
木 午後
往診に
おこ
います。

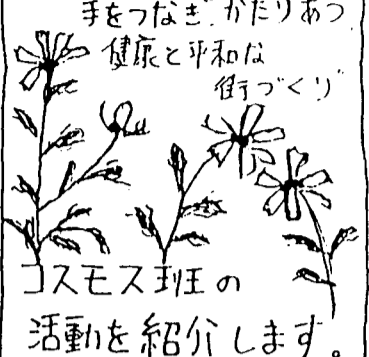


	月	火	水	木	金	土
午前	外 宮地 来 大石	積	大石	木 佐々木 大石	宮地 大石 (塚口)	宮地
午後		宮地		佐々木		
夜間	外 鈴木 来 夜間		宮地		上田	

午前九時～十二時
午後二時～四時
夜間五時半～七時半

健康だより

手をつなぎがたりあう
健康と平和な
街づくり



コスモス班の
活動を紹介します。

日野台二丁目のコスモス班は他の班よりおくれまして昨年八月に発足致しました。毎月第三金曜日に役員の

水野さんのお宅でお茶がしなどよいしにぎやかにひらいています。

私達は長い間健康診断をうけてきました。総てお医者さんにお任せして

結果を伺うだけでした。が、健康チェックは尿も自分で計り自分の目

でたしかめて勉強しますので病院とはまたちがったたのしきがあるよう

におもわれます。日常の健康をもつ

どうに栄養のバランス、塩分糖分のとり方などなど。血圧測定の方は大変難しく看護婦の高瀬さんにたよりますように勉強していきたいとおもいます。検査のあとで前回はよかったです。今日はどうかしらなどとチェックしはなしながらすずすととき。

この地区は、長い間小沼さんが大

病にお骨折りがされて会員をふやして

くださいました。もっとコスモスの輪がひろがりますようがんばりたいとおもっています。

と



コスモス班 池田美子

2.4 (みなの健康) 署名44,994をもつて 103名対都交渉

二月四日「支持する会」の会長榎本氏を先頭に百三名の人達が都庁第一委員会室増床許可を得る為の、国交交渉がおこなわれました。この日まで 四万四千七百九十四名の署名回紙を都庁役人三名並ぶ前につみあげられました。差額を

とらないで多年にわたり頑張り、地域の評判の高い相互病院を認めてほしい患者の生の声をきいてほしい」と挨拶。つづいて船島の女性が「要望書」をよみあげました。日野支部の赤松さんをはじめ患者の代表が増床の許可をうったえました。都側は、参加者の気迫のこもった訴えに「要望にこたえ、努力」すると発言。増床が圧倒的な住民の声であることが明らかにになりました。

おもえばいまから十八年前、働き盛りの私が激しい目まいに襲われ脳虚血と診断、立川第一相互病院に入院しました。入院中の手厚い治療と看護は勿論、栄養士はじめ運動療法士のかたの食事や運動のことこまかな指導が私の生活を一変させました。心臓病の野波さんは心臓病友の会で同じ病気でなやむ人達のために働いています。肝臓病で入退院を繰り返しながら、友の会で同じ病の人達の手助けをしている藤田さんや、渡辺夫人、渋谷夫人。糖尿病でときには入院もしながらご自分の

増床署名が大波のように街に広がってゆく

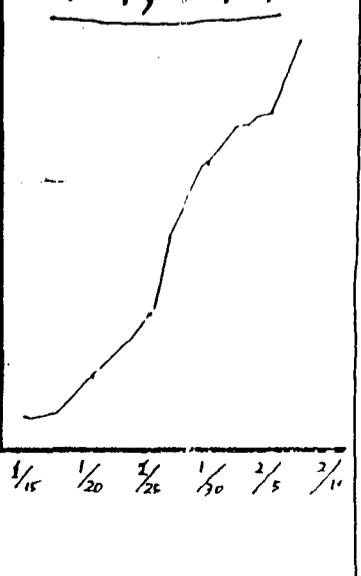
一四六二二八(日野支部)



募集！
編集部では原稿、
イラスト、詩、俳句
等を募集しています。
事務局ハブまで連絡下
さい。



署名総数(2/4)
44,794



1/15 1/20 2/25 1/30 2/5 3/11

立川相互病院増床の署名運動がはじまつて一ヶ月この署名は短期間に四万五千名に達し爆発的な支持を得てひろがっています。日野じゅうに署名用紙があふれ複数のかたから署名をたのまれこまわりましたというかたもおおいのではないかとおもいます。署名のとどいていないとおもわれる方をたずねて百五十枚集めた方の話もうかがっています。

こえました。十万名の署名を達成し、東京都に相互病院の増床を認めてもらい、地域の医師と相互病院の連携によって生命を大切に街となることを願ってさらに署名をひろげましょう。

日野支部 赤松 美彦

